

令和6年度 総会議案書



日時 令和6年5月30日（木）
17時～

場所 下関グランドホテル

（公財）日本電信電話ユーザ協会
下関地区協会

会 議 次 第

1. 開 会

2. 議長選出

3. 議 事

第1号議案 役員の一部変更

第2号議案 令和5年度の事業活動報告 及び 決算報告

第3号議案 令和6年度の事業活動計画 及び 収支予算

その他

4. 議長解任

5. お知らせ

6. 閉 会

(注) 本議案書に掲載しております「個人名・企業名」につきましては、
“順不同・敬称略”とさせていただきます。

令和6年度（公財）日本電信電話ユーザ協会 下関地区協会 役員名簿

	協会役職	氏名	事業所名等	役職名	前年度役員
※	会 長	曾 我 徳 将	下関商工会議所 株式会社山口銀行	会頭 取締役頭取	川 上 康 男
	副会長	嶋 本 健 児	下関商工会議所	専務理事	
※	副会長	田 中 尚 己	株式会社山口銀行	経営管理部長	坂 本 亮 一
	副会長	沼 孝 宏	サンデン交通株式会社	常務取締役	
	地区理事	岡 本 文 孝	株式会社川棚グランドホテル お多福	代表取締役	
	地区理事	中 村 和 博	大西商事株式会社	総務部長	
	地区理事	河 村 唯 志	株式会社西京銀行 下関支店	取締役下関地区統括部長 兼下関支店長	
	地区理事	米 田 圭 吾	下関海陸運送株式会社	取締役 総務部長	
	地区理事	宇 原 泰 司	下関商工会議所	事務局長	
	地区理事	目 守 正	林兼産業株式会社	総務部長	
	地区理事	高 橋 壮	山口合同ガス株式会社	総務部総務課 課長	
	地区監事	中 山 利 幸	西中国信用金庫	総務部長	
※	顧問	光 本 幸 夫	N T T西日本山口支店	ビジネス営業部長	増 野 勝 利

※印は新任役員

令和5年度 事業活動報告

1. 事業活動

(1) 電話対応に関する研修活動

① 商工会議所主催の「新入社員等研修」に共催

地区	と き	ところ	参加者
山口	令和5年5月24日	山口商工会議所	15事業所 22名
萩	令和5年4月18日	萩市福祉センター	8事業所 39名
宇部	令和5年4月5日・12日	山陽小野田市民館	9事業所 12名
周南	令和5年4月4日	徳山商工会議所	12事業所 22名
周南	令和5年10月11日	徳山商工会議所	8事業所 17名
周南	令和5年4月5日	下松商工会議所	16事業所 33名
周南	令和5年4月4日	新南陽商工会議所	10事業所 16名
岩国	令和5年5月11日・12日	岩国商工会議所	9事業所 43名
岩国	令和5年4月5日	大竹商工会議所	9事業所 17名
柳井	令和5年4月4日	柳井商工会議所	11事業所 43名

② 「電話対応・ビジネスマナー研修」を開催（商工会議所と共同開催）

概 要：電話の対応に特化した研修でロールプレイングをメインとした研修を実施。
受講後に電話対応技能検定（もしもし検定）4級を実施。
自身のマナー等のスキル把握と研修の習熟度の確認ができたと好評を得た。

地区	と き	ところ	参加者
山口	令和5年8月2日	山口商工会議所	12事業所 15名
長門	令和5年5月10日	長門商工会議所	1事業所 4名
宇部	令和5年6月7日	COCOLAND	5事業所 6名

③ 「クレーム電話対応研修」を開催（商工会議所と共同開催）

概 要：クレーム対応に必要な知識とスキル、心構えを身につける電話対応の
ステップアップコース。
受講後に電話対応技能検定（もしもし検定）4級を実施。

地区	と き	ところ	参加者
防府	令和5年10月4日	サンライフ防府	8事業所 10名
下関	令和5年12月6日	下関商工会館	4事業所 6名
周南	令和6年2月7日	徳山商工会議所	4事業所 5名

④「電話対応コンクール事前研修」を実施

と き：4月～7月

ところ：参加各事業所で個別に実施

概 要：各事業所に事務局(講師)が訪問して、参加者全員に研修を行った。

⑤映像視聴による自己学習を実施（「電話対応コンクール事前研修」の追加施策）

と き：5月～9月

ところ：職場や自宅でパソコンやスマートフォンなどを利用

概 要：「事前研修」の補完教材として、少しでも研修に役立てられるよう、映像視聴による自己学習ツールを用意。

地区	参加者
山口	4事業所 44名
防府	1事業所 1名
萩	1事業所 1名
長門	参加なし
下関	4事業所 12名
宇部	6事業所 48名
周南	1事業所 1名
岩国	1事業所 1名
柳井	参加なし
合計	18事業所 108名

⑥「電話対応コンクール地区審査」用録音を実施

と き：令和5年4月～7月

ところ：各参加事業所等

概 要：事前研修と同じく、事務局(講師)が事業所を訪問して実施。

コンクールで入賞することが目的ではなく、普段の対応を振り返る機会と捉え、参加者自身が納得の行くまで“リトライ有”で録音を実施。

⑦「電話対応コンクール地区審査」を実施

結果発表：令和5年8月7日

審査方法：あらかじめ録音した対応模様による審査

審査員：池田 美和子（ボアブラン 代表）
上田 美代子（オフィス桜）

地区	参加事業所・参加数者
山口	4事業所 38名
防府	1事業所 1名
萩	1事業所 19名
長門	参加なし
下関	5事業所 17名
宇部	5事業所 45名
周南	1事業所 1名
岩国	1事業所 1名
柳井	参加なし
合計	18事業所 122名

入賞者：厳正な審査の結果、次の方が入賞され県大会への出場権を手にした。

地区	賞	氏 名	事 業 所 名
下関	最優秀賞	大坪 美果	一般財団法人下関市公営施設管理公社
下関	優秀賞	坂田 由依	一般財団法人下関市公営施設管理公社
下関	優秀賞	肱岡 桂子	一般財団法人下関市公営施設管理公社
下関	優秀賞	福原 なおみ	一般財団法人下関市公営施設管理公社
下関	敢闘賞	三浦 ゆか	一般財団法人下関市公営施設管理公社
下関	敢闘賞	阿武 順子	一般財団法人下関市公営施設管理公社
下関	敢闘賞	三浦 俊明	損害保険ジャパン株式会社 下関保険金サービス課
下関	敢闘賞	岡野 純代	佐川急便株式会社中国支店 下関営業所
下関	敢闘賞	本光 美奈	山口合同ガス株式会社 下関支店
下関	敢闘賞	牛島 治美	損害保険ジャパン株式会社 下関保険金サービス課
下関	敢闘賞	高橋 大輔	損害保険ジャパン株式会社 下関保険金サービス課
下関	敢闘賞	熊谷 晶	佐川急便株式会社中国支店 下関営業所
下関	敢闘賞	山田 幸子	三井住友海上エイジェンシー・サービス株式会社 下関支店
下関	敢闘賞	脇本 佳澄	山口合同ガス株式会社 宇部支店

⑧「電話対応コンクール山口県支部大会事前研修会」へ参加

と き：令和5年8月25日

ところ：ユウベルホテル松政

参加者：参加者なし（参加者総数 34名）

講 師：池田 美和子（ボアブラン代表、ユーザ協会契約講師）

概 要：出場予定者が一堂に会し、講師のアドバイスを受けるとともに、対応内容についてグループディスカッションを通じ、他の参加者との意見交換・共有を図った。また、普段交流のない他事業所の社員との親睦も図った。

⑨「電話対応コンクール山口県支部大会」へ参加 《添付資料①県支部大会参加者一覧》

と き：令和5年9月22日

ところ：ユウベルホテル松政

参加者：地区大会で選出された 5名（参加者総数 47名）

競技模様をユーチューブにて配信。後日、参加者の競技模様を再度ユーチューブ配信し、自身の対応の振り返りや電話対応技能の向上に役立てていただいた。

審 査：委員長 柘植 忠司（山口朝日放送 報道制作局 報道制作センター部長）

委 員 杉下 秀幸（宇部山陽小野田美祢地区協会会長）

委 員 関谷 名加（テレビ山口 アナウンサー）

委 員 野関 由味子（株式会社フェスティナ・レンテ代表取締役）

委 員 松原 淳子（オーブ パーソナリティオフィス）

入賞者：5名の審査委員による厳正な審査の結果、次の方が入賞。

◆山口県代表：NTTビジネスソリューションズ株式会社 カスタマーサクセス部
カスタマーリレーション部門 山口カスタマーコンタクトセンタ

古谷 祥子

第2号議案

賞	氏 名	事 業 所 名	地 区
優 勝	古谷 祥子	NTTビジネスソリューションズ株式会社 カスタマーサクセス部 カスタマーリレーション部門 山口カスタマーコンタクトセンタ	山口
準優勝	竹山 猶子	個人会員	宇部 山陽小野田 美祢
第3位	渡邊 美智子	フジムラ経営労務管理事務所	周南
敢闘賞	伊藤 泰子	三井住友海上火災保険株式会社 中国損害サポート部 山口保険 金お支払いセンター	山口
敢闘賞	山下 芳枝	NTTビジネスソリューションズ株式会社 カスタマーサクセス部 カスタマーリレーション部門 山口カスタマーコンタクトセンタ	山口
敢闘賞	岡谷 理沙	Y I C情報ビジネス専門学校 医療事務学科	山口
NTT特別賞	三好 まり子	損害保険ジャパン株式会社 宇部保険金サービスセンター	宇部 山陽小野田 美祢
NTT特別賞	渡部 陽香	Y I C情報ビジネス専門学校 医療事務学科	山口
NTT奨励賞	長井 美結	Y I C情報ビジネス専門学校 医療事務学科	山口
NTT奨励賞	東中川 瑤子	Y I C情報ビジネス専門学校 国際ホテル・ブライダル学科	山口
新人賞	徳永 好香	Y I C情報ビジネス専門学校 国際ホテル・ブライダル学科	山口

※ 敬称略



⑩「第62回 電話対応コンクール全国大会 in 札幌」へ参加

と き：令和5年10月20日

ところ：札幌文化芸術劇場hitaru（札幌市）

参加者：各県の代表57名が参加 ＜山口県代表選手 古谷 祥子＞
（全国から6,316名が予選に参加）

山口県代表の古谷 祥子さんは、健闘されたが惜しくも入賞には至りませんでした。



全国大会で熱演する NTTビジネスソリューションズ株式会社 古谷 祥子さん

⑪「企業電話対応レベル診断」を呼びかけたが実施事業所はなかった。

概要：事務局が予告無しに、仮のお客様となって事業所に電話をかけ、対応模様を録音し複数の専門家による診断を行う。

診断結果は、アドバイスを付けた報告書にまとめ、対応模様を録音したCDと共に責任者へ送付する。

⑫「電話対応技能検定」（もしもし検定）を実施

概要：電話対応等のビジネスシーンにおけるお客様対応のエキスパートとして即戦力となり得る人材育成を目指し、ユーザ協会が設立した『もしもし検定』を実施。

4級	12回実施	受験者	66名	合格者	40名
3級	2回実施	受験者	8名	合格者	5名
2級	1回実施	受験者	1名	合格者	0名
1級	3回実施	受験者	4名	合格者	1名

令和5年度末、山口県支部で受験した各級の資格保持者は次のとおり

4級	—	476名
3級	—	215名
2級	—	24名
1級	—	5名
指導者級保持者	—	12名

第2号議案

⑬「電話対応出前研修」を実施

概要：事務局(講師)が事業所に訪問する方式で実施。電話対応に特化した研修を行う。
実際の対応を録音し、録音した自身の対応を聴き、普段の電話対応を振り返りながら研修する。

下関地区では、3事業所 延べ10回 128名が参加
支部では15事業所 延べ26回 198名が参加

(2) ICT活用推進に関する活動

①「ICTセミナー」の開催

概要：企業の経営者や実務担当の皆様向けに「DX」「AI」「テレワーク」「クラウド」「IoT」等のセミナーを開催。

○ 総会時にビデオ講演を開催

演 題：「明日の講談カタログ ～金子みすゞ伝、他～」

支部では9回開催（97事業所 97名が参加）

○ オンラインセミナーを開催

＜中国5支部合同開催セミナー＞

※支部全体での参加者数

実施日	講座名	講師	形式	事業所数	参加者数
11月2日	2023年度オンラインセミナー	野口聡一	オンライン	53	59
3月7日	2023年度オンラインセミナー	さかなクン	〃	33	34
合 計				86	93

＜本部・他支部主催オンラインセミナー（相乗り）＞ ※支部全体での参加者数

実施日	講座名・講演内容	講師	形式	事業所数	参加者数	開催支部
5月26日	地域の課題解決に向けたICT技術等の活用	森戸裕一	オンライン	4	4	本部
7月5日	ICTセミナー ＜DX戦略の成功条件＞	大前研一	〃	5	6	本部他
8月24日	ICT活用オンラインセミナー ＜メタパースとは何か？＞	岡嶋裕史	〃	5	5	四国事業推進部他
9月7日	ICT経営セミナー ＜分身ロボット＞	吉藤オリィ	〃	1	1	北海道
9月29日	デジタル人材がいない中小企業のためのDXセミナー	長尾一洋	〃	3	3	東京
12月8日	AI等の最新ICT技術がもたらす、新たなビジネス環境への対応等	古波鮫大己	〃	5	13	本部
1月10日	2023年経済から見た今後の経済見通し	大前研一	〃	6	6	本部他
1月24日	オンライン経営セミナー ＜DXは日本を変えるのか＞	古市憲寿	〃	7	7	北陸事業推進部
2月8日	ICTオンラインセミナー ＜ピンチのあとにチャンスあり＞	清宮克幸	〃	3	3	九州事業推進部
2月15日	経営トップセミナー ＜野球人生から学んだチャレンジ精神＞	矢野燿大	〃	2	2	埼玉
2月21日	最新技術（AI・生成AI）活用セミナー	池谷裕二	〃	2	2	北海道
2月28日	情報通信トップセミナー ＜働き方と経営改革＞	牛窪 恵	〃	1	6	愛知
3月4日	まちづくり推進セミナー	衛藤信之	〃	2	2	東北事業推進部
合 計				46	60	

主な講師の方々



野口 聡一氏
(宇宙飛行士)



さかなクン氏
(東京海洋大学
名誉博士)



大前 研一氏
(株式会社・
ブレイクスルー)



古市 憲寿氏
(社会学者)



牛窪 恵氏
(世代・トレンド
評論家)

②「標的型攻撃メール予防訓練サービス」の実施

概要：1 会員様 10 メールアドレスを対象に無料で予防訓練を体験。

支部では4 事業所が体験実施

③「eラーニングサービス」の実施

概要：1 事業所 20 名様まで無料で研修を体験。インターネットに接続されたパソコンやスマートフォンで、いつでも・どこでも学習することが可能。

支部では4 事業所が体験学習実施

(3) その他の活動

○エコキャップ回収活動

下関地区協会エリアでは次の3 会員の協力により実施。

令和5 年度は 1,131 kg を回収。(県支部内では22 会員、3,677 kg)

地区	事業所	
防府	株式会社三友	
萩	山口県農業協同組合 萩統括本部	
長門	長門商工会議所	
下関	株式会社アクシス	サンデン造園株式会社
	山口県農業協同組合 下関統括本部	
宇部	オーブ パーソナリティオフィス	山陽商工会議所
	ボアブラン	美祢市商工会
	株式会社ワイドシステム	
周南	株式会社西京銀行 本店	新南陽商工会議所
	東ソー物流株式会社	トクヤマ海陸運送株式会社
	日本ゼオン株式会社	光商工会議所
岩国	株式会社東洋地所	
柳井	アニバーサリーステージ・ベルゼ	社会福祉法人さつき会 さつき園
	田布施町役場	平生町役場

2. 諸会議

(1) 令和5年度総会

と き：令和5年6月12日

ところ：下関グランドホテル

議 案：第1号議案 役員の一部変更

第2号議案 令和4年度 事業活動報告 及び 決算報告

第3号議案 令和5年度 事業活動計画 及び 収支予算

その他

(2) 令和5年度山口県支部理事会

と き：令和5年7月20日

ところ：ホテルニュータナカ（山口市）

議 案：第1号議案 役員の一部変更

第2号議案 令和4年度 事業活動報告 及び 決算報告

第3号議案 令和5年度 事業活動計画 及び 収支予算

第4号議案 総会・理事会における議案書一元化について

その他

3. 組 織（会員数）

協会名	令和4年度末 会員数	令和5年度末 会員数	純増減
下関地区協会	58	57	▲ 1
山口県支部	449	436	▲ 13

令和5年度決算報告 各地区協会【再掲】

自：令和 5年4月 1日
至：令和 6年3月31日

収入の部（単位：円）

勘定科目	地区名	山口	防府	萩	長門	下関	宇部山陽小野田 美祢	周南	岩国大竹	柳井大島	合 計
会費収入		405,800	165,000	155,000	85,000	280,000	365,000	340,000	185,000	190,000	2,170,800
会員会費収入		405,800	165,000	155,000	85,000	280,000	365,000	340,000	185,000	190,000	2,170,800
雑収入		20	4	1	2	8	8	8	326	4	381
受取利息収入		20	4	1	2	8	8	8	326	4	381
当年度収入合計		405,820	165,004	155,001	85,002	280,008	365,008	340,008	185,326	190,004	2,171,181
前年度繰越額		1,245,903	579,296	488,090	422,330	959,342	941,273	1,004,111	586,681	635,522	6,862,548
収入合計		1,651,723	744,300	643,091	507,332	1,239,350	1,306,281	1,344,119	772,007	825,526	9,033,729

支出の部（単位：円）

勘定科目	地区名	山口	防府	萩	長門	下関	宇部山陽小野田 美祢	周南	岩国大竹	柳井大島	合 計
管理費		269,404	145,800	118,840	106,982	141,482	154,313	244,612	196,610	136,105	1,514,148
会議費・諸経費		269,404	145,800	118,840	106,982	141,482	154,313	244,612	196,610	136,105	1,514,148
総会会議費		249,804	113,400	108,510	98,762	126,547	136,583	209,612	180,840	110,165	1,334,223
表彰費		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
商工会議所会費		13,500	14,400	10,000	8,000	14,000	11,400	15,000	15,000	12,500	113,800
旅費交通費		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他経費		6,100	18,000	330	220	935	6,330	20,000	770	13,440	66,125
内部取引支出		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上部費支出		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他支出		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当年度支出合計		269,404	145,800	118,840	106,982	141,482	154,313	244,612	196,610	136,105	1,514,148
収入合計		1,651,723	744,300	643,091	507,332	1,239,350	1,306,281	1,344,119	772,007	825,526	9,033,729
繰越差額		1,382,319	598,500	524,251	400,350	1,097,868	1,151,968	1,099,507	575,397	689,421	7,519,581

下関

収支比較表

(単位：円)

収入決算額	支出決算額	差引残高	備考
1,239,350	141,482	1,097,868	次年度へ

貸借対照表

(単位：円)

借方			貸方		
科目	金額	備考	科目	金額	備考
普通預金	862,143	西中国信金(本店)	繰越金	1,097,868	次年度へ
内部貸付金	235,725	本部経理部			
合計	1,097,868		合計	1,097,868	

令和5年度会計監査

令和5年度(令和5年4月1日～令和6年3月31日)における
会計処理について監査した結果、出納簿・預金通帳ならびに証拠書類等は
適正に処理されており、決算報告のとおり相違ないことを認めます。

令和6年5月14日

下関地区協会

監事

中山利幸

＜参考＞ 山口県支部 事業費決算報告（抜粋）

山口県支部

支出の部（単位：円）

勘定科目	予算額(a)	決算額(b)	差額(b)-(a)	備考
事業費	7,488,000	7,041,466	-446,534	
電話対応競技会費	4,915,000	4,077,660	-837,340	
旅費交通費	513,000	551,020	38,020	
審査委託費	1,200,000	1,205,631	5,631	
会場費	906,000	624,800	-281,200	
表彰賞品費	450,000	407,415	-42,585	
その他	1,846,000	1,288,794	-557,206	
対応研修・セミナー等費	1,240,000	1,530,638	290,638	
講師委託費	678,700	941,706	263,006	
共催負担金	480,000	480,000	0	
会場費	25,300	28,930	3,630	
その他	56,000	80,002	24,002	
I C T 関連セミナー等費	748,000	1,068,247	320,247	
講師委託費	685,000	894,485	209,485	
その他	63,000	173,762	110,762	
もしもし検定費	585,000	364,921	-220,079	
講師委託費	480,000	279,981	-200,019	
その他	105,000	84,940	-20,060	
その他事業費	0	0	0	
その他事業費	0	0	0	
組織強化費	0	0	0	
その他	0	0	0	

令和6年度 事業活動計画（案）

1. 事業活動

（1）電話対応に関する研修活動

- ①「電話対応コンクール事前研修」（実施中）《添付資料②コンクール参加者募集チラシ》
と き：令和6年4月～7月下旬
ところ：参加各事業所で個別実施
概 要：事業所に事務局（講師）が訪問する方式で実施。
- ②映像視聴による自己学習を実施（「電話対応コンクール事前研修」の追加施策）
と き：5月中旬～10月上旬（予定）
ところ：職場や自宅でパソコンやスマートフォンなどを利用
概 要：「事前研修」の補完教材として、少しでも研修に役立てられるよう、映像視聴による自己学習ツールを用意。
- ③「電話対応コンクール地区審査」用録音を実施（予定）
と き：令和6年4月～7月下旬
ところ：各参加事業所等
概 要：事業所訪問方式で実施。コンクールで入賞することが目的ではなく、普段の対応を振り返る機会と捉え、参加者自身の納得がいくまで“リトライ有”で録音を実施。
- ④「電話対応コンクール地区審査」を実施（予定）
結果発表：令和6年8月19日
審 査：公平を期すため、2名で実施。（調整中）
入賞者：地区協会毎に1名の最優秀賞を選出、併せて県支部内の上位50名程度を入賞者とし、県支部大会への出場権を付与。
希望があれば、競技模様を録音したCDをフィードバックする。
- ⑤「電話対応コンクール県支部大会事前研修会」へ参加（予定）
と き：令和6年9月6日
ところ：ユウベルホテル松政（山口市）
講 師：調整中
対象者：県支部大会への出場資格を持つ選手 50名程度
概 要：講師からのアドバイスでスキルアップを図るとともに、グループディスカッションを通じ、他の選手の対応や表現力についても学ぶことを目的とする。
- ⑥「電話対応コンクール山口県支部大会」へ参加（予定）
と き：令和6年10月4日
ところ：ユウベルホテル松政（山口市）
参加者：地区大会での入賞者 50名程度
概 要：県支部大会での優勝者1名が山口県代表として、全国大会へ出場。
- ⑦「全国大会出場事前研修」を実施（予定）
と き：全国大会参加者決定後、複数回を予定
ところ：全国大会出場者勤務先事業所

⑧「電話対応コンクール全国大会」へ参加（予定）

と き：令和6年11月15日

ところ：高知県立県民文化ホール（高知市）

参加者：山口県代表1名（県支部大会優勝者）を含む全国57名で競技

概 要：全国大会の様子は、ユーザ協会のホームページからインターネットのライブ中継で配信され、リアルタイムで大会の様子を閲覧できる。

山口県代表者の指名で1名の付き添いを選定。

山口県支部大会の入賞者2名を研修生として派遣し、全国大会を聴講・応援する。

⑨「企業電話対応レベル診断」を実施《添付資料③対応診断チラシ》

と き：令和6年4月から随時受付中

概 要：電話対応教育・企業のCS（顧客満足）向上を目的に広く診断希望者を募集する。

全国レベルの「企業電話対応コンテスト」も5月から申込受付中

⑩「電話対応技能検定」（もしもし検定）の実施《添付資料④もしもし検定受験者募集チラシ》

と き：令和6年4月から随時受付中

概 要：広く受験者を募り、認知度向上、資格者の増員、さらに上のレベルの資格取得を目指すこととする。

⑪「電話対応出前研修」の実施《添付資料⑤出前研修申込チラシ》

と き：令和6年4月から随時受付中

概 要：事務局(講師)が事業所に訪問する方式で実施。電話対応に特化した研修を行う。実際の対応を録音し、録音した自身の対応を聴き、普段の電話対応を振り返りながら研修する。

⑫ 全国相乗り型オンライン研修の実施

概 要：東京支部等で計画されるオンライン研修へ各支部が相乗り実施。

開催内容・時期等が決定次第、ご案内します。

(2) ICT活用推進に関する活動

①「ICTセミナー」の開催

企業の経営者や実務担当の皆様向けに「DX」「AI」「テレワーク」「クラウド」「IoT」等のメニューを取り揃え、開催いたします。

オンラインセミナーについても、中国5支部合同開催や本部・他支部開催への相乗り実施に積極的に取り組んでいくこととする。

開催内容・時期等が決定次第、ご案内します。

②「標的型攻撃メール予防訓練サービス」の実施《添付資料⑥標的型攻撃メール予防訓練サービスチラシ》

1会員様10メールアドレスを対象に無料で予防訓練を体験いただけます。訓練実施後に、訓練結果のご報告に加え、教育コンテンツ（web学習）を参加者全員に提供いたします。

申込み受付中

③「eラーニングサービス」の実施《添付資料⑦eラーニングサービスチラシ》

1事業所20名様まで無料で研修を体験いただけます。「研修を計画できない」「講習に参加する時間がない」という方でも、インターネットに接続されたパソコンやスマートフォンで、いつでも・どこでも学習することができます。

申込み受付中

(3) その他の活動

○エコキャップ回収活動

引き続きご協力をお願いいたします。

2. 諸会議

(1) 令和6年度総会

と き：令和6年5月30日

ところ：下関グランドホテル

議 案：第1号議案 役員の一部変更

第2号議案 令和5年度 事業活動報告 及び 決算報告

第3号議案 令和6年度 事業活動計画 及び 収支予算

その他

(2) 令和6年度山口県支部理事会

と き：令和6年7月22日

ところ：かめ福オンプレイス（山口市）

議 案：第1号議案 役員の一部変更

第2号議案 令和5年度 事業活動報告 及び 決算報告

第3号議案 令和6年度 事業活動計画 及び 収支予算

第4号議案 今後の地区協会の在り方・運営方法の検討について

その他

3. 組織強化（会員数増）

「1つでも行事に参加していただけるとお得になります」

のお得感と、入会を促す魅力ある新しいメニューを考え、周知の徹底を図ることにより、退会防止及び新規会員獲得に努める。

令和6年度予算（案）

自：令和6年4月 1日

至：令和7年3月31日

収入の部（単位：円）

勘定科目	予算額(a)	前年実績(b)	差額(a)-(b)	備考
会費収入	260,000	280,000	-20,000	
会員会費収入	260,000	280,000	-20,000	
雑収入	8	8	0	
受取利息収入等	8	8	0	
当年度収入合計	260,008	280,008	-20,000	
前年度繰越額	1,097,868	959,342	138,526	
収入合計	1,357,876	1,239,350	118,526	

支出の部（単位：円）

勘定科目	予算額(a)	前年実績(b)	差額(a)-(b)	備考
管理費	119,535	141,482	-21,947	
会議費・諸経費	119,535	141,482	-21,947	
総会・理事会会議費	104,600	126,547	-21,947	
表彰費	0	0	0	
商工会議所会費	14,000	14,000	0	
旅費交通費	0	0	0	
その他経費	935	935	0	
内部取引支出	50,000	0	50,000	
上部費支出	0	0	0	
その他支出	50,000	0	50,000	
当年度支出合計	169,535	141,482	28,053	
収入合計	1,357,876	1,239,350	118,526	
繰越差額	1,188,341	1,097,868	90,473	